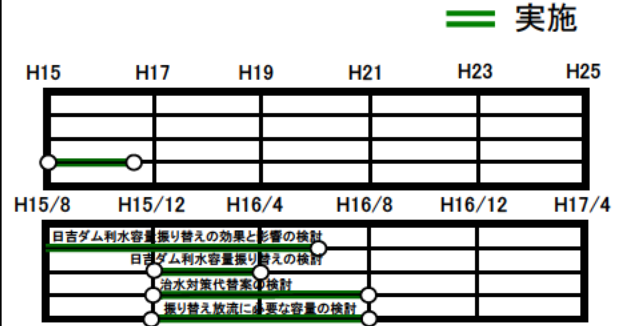


## 日吉ダム治水機能強化

### ●具体的な整備内容

- ・日吉ダムの利水容量の振り替えについての検討を行う。
- ・京都府の河川整備計画との整合をとる。

### ●実施スケジュール



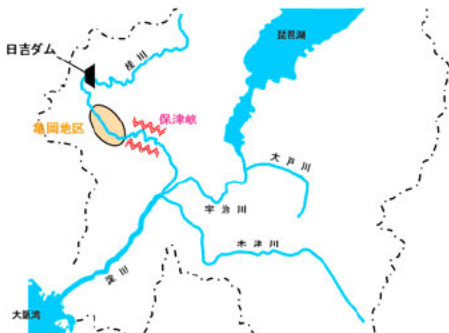
### ●具体的な調査検討内容

1. 日吉ダム利水容量振り替えの効果と影響の検討
2. 日吉ダムの利水容量振り替えを最も効率的にする方法の検討
3. 治水対策代替案の詳細検討
4. 振り替え放流に必要な容量の検討

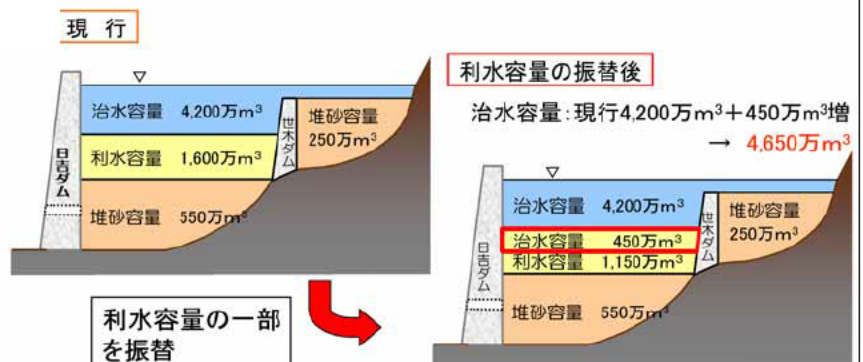
### ●進捗状況

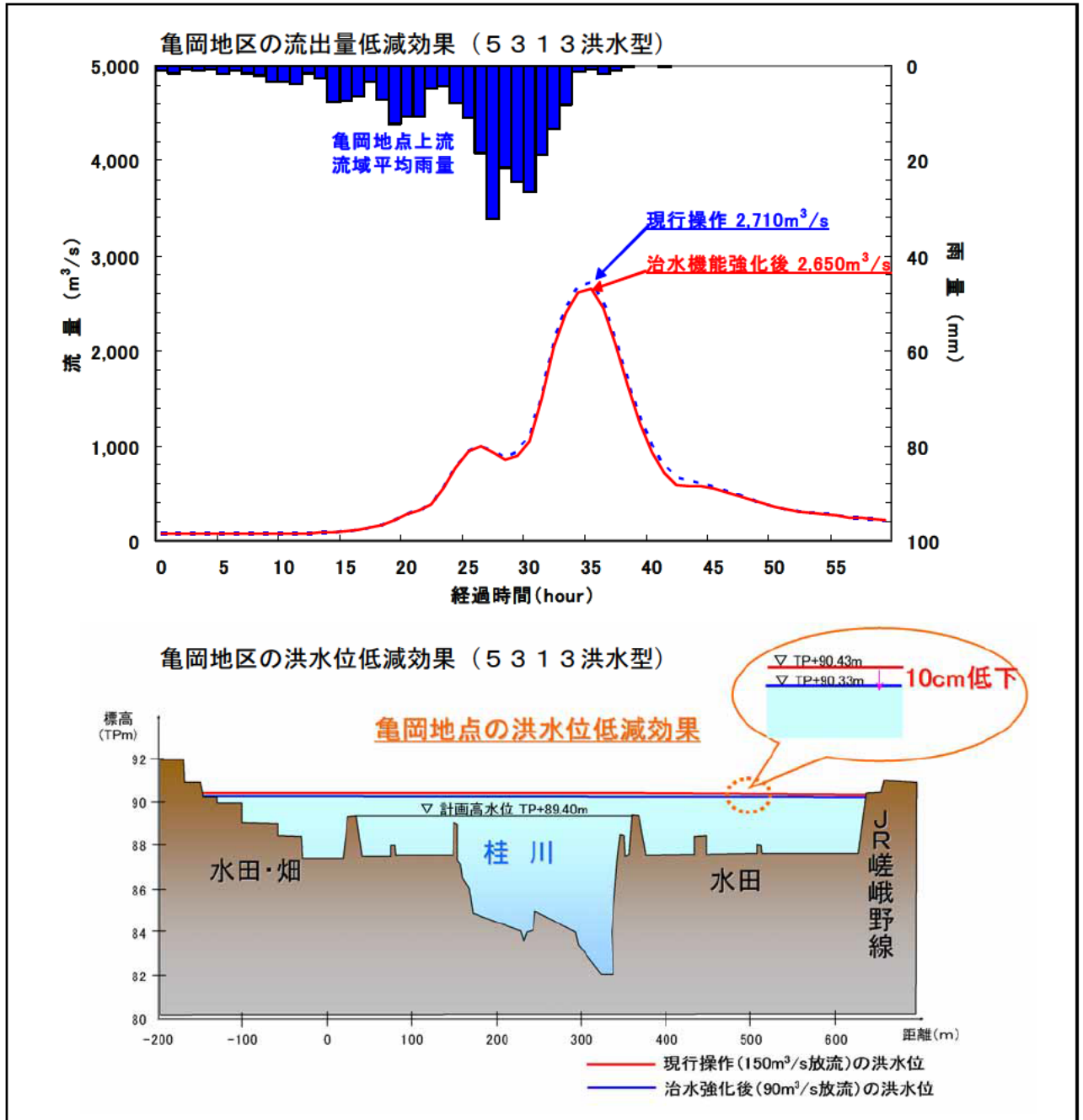
・日吉ダムの治水機能強化策の一つとして大戸川ダムによる日吉ダムの利水容量の振替（振り替えた利水容量分を治水容量として増大させる）を検討した。大戸川ダムで振り替えることができる日吉ダムの利水容量は450万 $m^3$ で、治水容量をこの分増大することができる。日吉ダムの治水容量の増量により、亀岡地点で既往最大洪水を対象とした場合、流量を2,710 $m^3/s$ から2,650 $m^3/s$ に低減できるが、亀岡地点の洪水位は約10cmしか低減せず、浸水戸数も減少しないことがわかったので、第10回ダムWG(H16. 12. 5)で発表した。

### 日吉ダムの位置



### 日吉ダムの利水容量の治水容量への振替





### ●委員会等からの意見

○「事業中のダムについての意見書」(平成17年1月22日)

・「保津峡上流亀岡地区の浸水被害の軽減」については効果がわずかであるため採用しないとの河川管理者の説明に基づきダム建設の効果の検討対象から除外する。

### ●進捗状況(平成17年1月22日～平成17年12月22日)

○保津峡上流の治水対策 (平成17年7月21日とりまとめより)

・保津峡上流の亀岡地区の浸水被害の軽減を図るため、大戸川ダムへの利水容量の振替えによる日吉ダムの治水容量の増大についても検討したが、その効果は僅かである。したがって、大戸川ダムへの利水容量の振替えにより日吉ダムの治水容量を増大する案は採用しない。保津峡上流の治水対策の実施について京都府と調整する。